

もちつき体験・門松作り

12月22日(日)に、いきいきワクワク塾主催で、「もちつき体験」を実施しました。50名を超える子どもたちが学校に集まり、杵と臼を使っての餅つきをしました。

ついた餅は自分でこね、きな粉や醤油などをつけて食べました。また、食べきれなかった餅は自宅に持ち帰りました。

昔ながらの年末の行事を体験し、田植えから稲刈りまでの活動を継続して取り組み「自然の恵みについて学ぶ学習」として、大変有意義な体験ができました。一人一人がおいしそうなお顔をほおぼっている姿が印象的でした。



また、おやじの会の方々が22日の午後から正門に門松を作ってくださいました。立派な門松ができ、令和2年の新年を気持ちよく迎えることができました。子どもたちがとても喜んで正門を通っていました。



一人一人が心を込めて精一杯つきました。



みんなでこねて丸めてもち作り。

交通安全マナーアップ大作戦

1月8日(水)～15日(水)までの新学期始めに西始良校区「交通安全マナーアップ大作戦」が実施されました。これは、西始良小学校スクールゾーン委員会の呼びかけにより、校区コミュニティ協議会・各自治会・西始良小PTA・西始良小学校の5者が協力して行われたものです。西始良小学校児童の登下校の安全確保のために児童への呼びかけ指導や安全確保の誘導をしていた

ただくことはもちろんのこと、校区内のドライバーの方々への思いやりのある運転を校区全体で呼びかけ、校区あげでの運転マナーや交通安全意識の向上を目的としています。初日の8日から西始良小学校正門をはじめ、校区内の各所において、各団体から多数の方々交通安全への呼びかけ運動に協力してくださいました。今後も、西始良小校区内において、児童生徒の“交通事故0(ゼロ)”を目指して、交通ルールとマナーを守り、「団地内速度40km以下走行」への御協力をお願いいたします。



2学期 学校評価より

2学期の学校評価について、御協力いただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様からいただいた主な意見についての基本的な考え方や今後の改善策です。今後とも、御協力よろしく申し上げます。

○ 持ち物等についての御意見(旅行のお土産、プレゼントなど)

→「学習に必要なもの以外は、学校に持って来ないようにしましょう。」と指導しています。したがって、お土産やプレゼント等を学校で受け渡ししないようにお願いします。

○ 持久走大会についての御意見(応援、時間、大会コースの改善、校庭の周回、練習・試走など)

→大会場所への変更は応援がしやすく良かったとの意見が多かったため、来年度も今年度同様で行う予定です。コースや時間、駐車場などについては、反省を元に改善していきます。

○ 学習発表会についての御意見(発表、時間など)

→子どもたちのがんばりに対する賞賛の声が多かったですが、発表の仕方や時間配分等、よりよい内容を目指して工夫していきます。

2月行事予定

日	曜	行事等
2/3～	月	教育相談月間 集金日
2/4	火	新一年生一日入学・入学説明会
2/5	水	クラブ活動(3年見学)
2/6	木	あいあい号
2/7	金	学校評議委員会
2/7～	金	家庭学習強調週間(～13日)
2/8	土	1年生「昔遊び」(SSVC)
2/14	金	栄養指導(1・2年)
2/19	水	お茶とのふれあい事業(5・6年) PTA理事会(19:30～)
2/20	木	ALTとの交流(3年～6年) あいあい号
2/21	金	学校保健委員会 子どもといっしょに読書の日
2/25～	火	学力定着旬間
2/27	木	授業参観、学級PTA PTA総会、家庭教育学級閉級式
2/28	金	ひなたぼっこ読み聞かせ



令和元年度 学校だより 1月号

ウエスト フレッシュウィンド

(西始良の爽やかな風)

始良市立西始良小学校

新しき 年のはじめにおもふことひとつ 心につとめて行かな (斎藤茂吉)

校長 高瀬 薫

新年明けましておめでとうございます。家族水入らずで健やかな新年をお迎えになられたことと思います。今年の干支は「庚子（かのえ・ね）」。「庚（かのえ）」は、樹木に花が付き、実をつける状態を意味します。「子」とは、生命のスタートであり、繁殖や発展を意味します。つまり、「庚子（かのえ・ね）」の年には新しいことを始めると上手くいく、大吉であるということです。

さて、本校におきましては、今年37年目を迎えます。人間でいうと働き盛り。40才を前にますます活躍が期待されます。また、開校40周年記念の準備をそろそろ始めないといけない年になると考えています。

ところで、今年はオリンピックやパラリンピック、本県では鹿児島国体に鹿児島大会が開かれる年です。スポーツで感動の年になりそうですが、自分の健康・体力づくりについても考える年にしたいですね。それが、大会開催の意義でもあると考えます。新年早々、地域の皆様方には、「交通安全マナーアップ大作戦」に取り組んでいただきました。今年も子どもたちの健やかな成長を願い、共に頑張っていきたいと思います。

冒頭の和歌は斎藤茂吉作です。「新年に心新たに思うことは、物事に精を出して頑張っていこうということ。」今年、何に頑張っていけますか。子どもたちが健やかに成長しますように。

合唱で学んだこと：友だちと体験

6年生の石塚鈴宵さん、黒岩優希さん、佐藤紅葉さん、友野さやかさん、水溜笑理さんの5人は3年生の頃から合唱を始めました。こつこつと努力する様子を見て、合唱に何か素晴らしいことを見出しているのだろうと思い聞いてみました。すると次のように答えてくれました。「合唱クラブで、学年を越えて活動できるので、他の学年の人たちとも交流ができました。」「県合唱祭や校区夏祭り、校区文化祭に出演できて、とてもいい経験になりました。」などです。昼休みや土・日を使って練習していますが、遊びたい盛りですので友だちと校庭で遊びたいときもあったことと思います。そのようなことを乗り越えて合唱を続けてきてくれました。5名の6年生にとっては、1月25日に開催される「県合唱祭」が小学校最後の発表の機会になります。彼女らの思いが詰まったステージになることでしょう。忘れられない思い出に残る演奏になるのではと、とても楽しみです。

彼女らが最後に言ったことは「西始良小学校の合唱クラブの活動がいつまでも続いてほしい。」ということです。



駅伝好きな日本人

今回の正月も駅伝で楽しませてもらいました。元旦にあったニューイヤー駅伝では旭化成が優勝しました。本県出身の市田兄弟が出場しており、応援にも熱が入りました。二・三日は箱根駅伝。青山学院大の復活優勝で幕を閉じました。原監督の「やっぱり大作戦」は優勝に導く素晴らしいものでした。ダメ世代と言われた4年生のやる気を引き出し、覚悟をもって駅伝に取り組ませた手腕は高く評価されます。

十二日には、都道府県対抗女子駅伝がありました。鹿児島県は5年振り5位入賞。一時は3位までいく大健闘でした。年末に行われた高校女子駅伝で2位になった神村学園勢の活躍が光りました。2時間17分4秒は、鹿児島県の過去最高記録です。こちらも尾上寿子監督の「選手全員がエースである。」という采配が実を結びました。

さて、箱根駅伝でエース区間の2区を走った明治大学の加藤選手は帖佐中の出身。また、神村学園で好走した黒川選手は国分南中の出身です。地元出身の選手が全国的な活躍をするとは励まされます。自分もできるのではないかと思えてきます。努力すれば必ず夢に近づきます。西始良小の子どもたちには「努力することができる天才」になってほしいと思います。二十六日は地区対抗女子駅伝があります。始良チームの健闘を祈ります。

